



私が視察した歐米の幼稚園教育(八)

二

堀 七 藏

獨逸國に於ける幼稚園教育の情況につき説明するに當り先づ獨逸國教育全般についての所感を述べます。獨逸國は多くの聯邦から出來てゐてそれ／＼政治教育等の状態が異つてゐます。しかし一九一九年制定の獨逸新憲法では就學義務が八年以上の小學校及之を卒りたる後滿十八歳に至るまで補習學校に通學することを原則としてゐるのでこれは全國共通であります。そして小學校は六歳より十四歳までの八年間でありますから六歳までが幼稚園であります。それで小學校はフォルクスシユレー(國民學校)といつてゐますがその中六歳より十歳までの四年間をグルンドシユレー、即ち基礎學校と稱し、如何なるものも必ず入學すべきことになつてゐます。このグルンドシユレーを経て更にフォルクスシユレーに在學して小學校教育を終り、補習教育を受けるものが大多數であります。グルンドシユレーを終つ

てミツテルシユレーに入學するものもあり、またギムナジウム又はオーバーレアルシユレーに入學するものもあります。女兒ではミツテルシユレーに入るもの、またリチウムに入るもの、またヘーレメツエヘンシユレー(高等女學校)に入學するもの等があります。これは聯邦によつて多少異なるのでありますが大體に於て獨逸の教育は我が國の教育と著しく似てゐます。我が國で多く獨逸を眞似た爲であります、また最近では獨逸が我が國の教育を研究し模倣せんとしてゐることもあります。一體ヨーロッパでも獨逸は我が國と國民性に於て類似したところが少くないやうに思はれますからいろいろの點に近似せる所が比較的多いのが自然であります。

二

獨逸の小學校は小學校も中等學校も午前八時始業であります。日出日没の關係標準時の關係であります。せうが、午前八時始業は中々に早いのであります。ハンブルグが北緯五十三度半、ベルリンが五十二度半南獨逸のミュンヘンでも四十八度でありますから一般に氣温が低く一年中の最高温度はベルリンが七月の平均で十八度、ハンブルグが十七度、ミュンヘンが矢張十七度であります。また一年の最低温度一月の平均がベルリン零下〇・七度、ハンブルグ零度、ミュンヘンが零下三度であります。それにもかゝらず私が獨逸に滞在してゐた八月から十月末まで何時でも午前八時始業であります。十月の朝の八時はまだ薄暗く、雨が降る日などは甚だ寒いのであります、小學校の兒童は皆八時に登校します。尤も一年

生は一時間おくられて昇校する所が多いのでありますが、兎角八時始業で、第二時の休憩が多少長く、この間に女學校中學校などでは教師も生徒も食事してゐます。朝起きて仕度をして直に學校へ行くので家庭で朝食をしないのが多い。途中梨やサンドウイチを頬張りながら學校に行く子供も見受けますが、多くは第一時と第二時の間か、第二時と第三時との間に朝のランチをやることになつてゐます。面白いのは女生徒でも女教師でも廊下を歩きながら梨・林檎を皮もとらず、その儘かぢつてゐます。獨逸のみならず凡てヨーロッパ諸國で梨や林檎の皮をむいてたべません。殊に梨はへたの棒を棄てるだけで心まで食べます。尤も獨逸梨は皮もうすくて心も軟で、悉く食べる方がよいのであります。兎に角休憩時間に立食をし、廊下を歩きながら食事することは一向に不作法ではありません。吾等參觀人に接待しつゝ、サンドウイチ、それも丸いパンを二つに切つてハムを押込んだだけのサンドウイチをもぐぐく食べ、また梨をたべながら教室に案内したり説明してゐる有様は誠に無邪氣なものであります。この時刻に小さな生徒などは牛乳をのみます。それで午前八時より午後一時まで授業をして、午後一時には凡て授業が終りますから所謂晝食(ランチ)を學校でなすことはありません。教師も生徒も午後一時に授業が終ると悉く晝食のため家庭に歸るか、レストランに行くことになつてゐます。英國の午前九時始業、正午より午後二時まで晝食の休憩があつて、午後二時より四時まで授業があるのとは大に異なる點でありませう。それで午後は教師も生徒も運動競技をする。冬の日とか雨の日には私立の體操組合があつて立派な

體操場をもち時間割が出来てゐて、幼児でも老人でも運動が出来るやうになつてゐますからそれを利用する。夏の日とか晴天には盛に運動をなすやうに公共の設備が出来て居り、また借用して運動が出来ることになつてゐます。

三

獨逸の小學校でも中等學校でも、校長は多く授業をしてゐます。ハンブルグの中等學校では校長を互選してゐますから校長も一定の授業時間があり、特に校長事務をとる時間が定つてゐるので、その時間に行かぬと校長に面會が出来ず、授業中に出かけると休憩時間まで待合さねばなりません。ベルリンの小學校では始業前に行くか休憩中でないかと校長に面會が出来ず、校舎はかきがかゝつゐるから入口か校庭に待合せねばなりません。一年の生徒も教師もしめ出しを喰つた形で、休憩時間を待つてゐる所が多いのであります。休憩時間になると校長は參觀のプログラムを定めて呉れ、多くは一時間以上參觀させるのが普通で、時には二日も三日も參觀して呉れとか、一週間以上續いて參觀せぬと參觀を許可せぬ學校が多い位で實に眞面目なものであります。この點で獨逸位授業を眞面目になし、眞面目に參觀させやうとする所はありません。よい加減の參觀は必ず斷る位に眞面目なのは獨逸教育の一特色でありませう。小學校參觀の授業方法を茲に述べる必要はありませんが、授業中に於ける兒童生徒も至極眞面目なものであります。ギムナヂウムなどの十八九歳の大きな男兒が教師に代つて椅子を必ず教卓の前に据ゑて腰

掛けるやうにすゝめ、教科書を示して問答しつゝある所、學習してゐる所を指示する態度は實に眞面目で從順であります。我が國の中學生などの如く不眞面目な學習態度などは微塵もありませんのは實に羨しい位であります。單に參觀者を待遇する許りてなく、教師の手傳をして實驗や實習を完全に行はせる。各自のために教師が實驗作業をして呉れるのであるといふ様子が明白に現はれて至極學生らしい態度であります。これは女學生は勿論小學校生徒も誠に從順なもので、眞に學習態度が出來てゐるといつてよいと思はれます。要するに教師にも生徒にもズボラな所が微塵もない。自由と放任と混合したやうな英米の諸學校に於ける態度は獨逸教育には全く見られない所であります。ハンブルグでもベルリンでも實驗學校などと稱し、生徒の自由學習を尊重した教育の研究をなす所がありますが、それ等とても我が國の學校、或る小學校中學校の如き放任だか氣まぐれだか分らず、學習してゐるのかふざけてゐるのだか分らぬといふことは全くないと思はれます。

四

獨逸は大戰後共和政府となり社會黨が多く政權をとつてゐるから風變りな所も少くないやうですが、獨逸は獨逸式に整然とした所が明白にあると思はれます。ハンブルグ政府では土曜日午後から日曜日にかけて品物を賣つてはならぬ。賣つて者も買つたものも罰金をとられる位、八ヶましき規則になつて之を實施して居ります。勿論レストランで食事をするのは別でありますが、レストランと雖もエハガキ

でも何でも一品も賣ることは出來ず、食品として賣ることが出來ません。これも土曜日の午後より日曜日にかけて休業するのが一般、その間に賣買をして利益を得ることは社會生活の平和を亂すものといふ社會主義的の理論から出たものでありませうが、それを嚴格に實施してゐるのが獨逸式であります。禁酒の法律を實施してゐながらその法律が殆ど空文かと思はれる位な米國とは全く異なるところであります。更にハンブルグでも結婚せる女教師の奉職を許さぬ。女教師が結婚すると必ず退職せねばならぬ規則になつてゐるのであります。その理由とする所は結婚した女教師は教師と家事と二種の任務仕事をなすから、教師としての能率があらぬといふのではありません。女は結婚すると夫が扶養するのが獨逸の家庭生活の原則となつてゐますから、既に結婚して扶養する夫のあるものが更に教職にあつて獨身者の生活資料を得る途をさまたぐるのが不都合であるといふ社會主義的の理由からであります。結婚した女教師は必ず退職して獨身者に道を開くのが規則となつて實施せられてゐるのであります。これは獨逸婦人が他のヨーロッパ諸國の婦人に比して専ら家庭に主婦として活動することの多い理由にもなります。

元來獨逸では結婚して家庭をつくるには男女の負擔が嚴格に異なるのであります。農業立國の歴史を持つた獨逸の家庭生活は我が國に著しく似寄つた所があります。勿論我が國の如く家族制度が發達せず、青年男女が相寄つて一家をなすのでありますが、結婚するまでの費用一切は女子の負擔であります。適當な青年を娘のために探出す機會をつくるのは娘を持つた親の義務であります。冬季いろ／＼の會合を

つゝつて娘が青年を知るまた適當な青年に娘が知られる機會をつくるのが親の義務であります。それでその費用は一切娘親の負擔であり、親が貧なれば娘は自ら稼ぐことによつて一切負擔せねばならぬ。エングーヂの披露も娘側でなすことであり、結婚式の費用も女の負擔であります。また一家を持つに必要な家庭の什器一切、寢臺も寢具もまた臺所道具一切も女が負擔せねばならぬのであります。それで男は結婚するときは眞に丸裸でもよいのであります。その代り結婚後は夫が家庭生活に必要な費用は凡て負擔せねばなりません。妻は夫の收入によつて生活し家庭を整理して愉快な慰安所、夫の活動を完全ならしむるやうに十分なる休息慰安を與へるのが妻の任務であります。茲に於て夫婦共稼は出來ないといふことになつて、結婚すれば女教師は退職せねばならぬ。そして獨身にて自活せねばならぬものに途を開くことになるのであります。また獨逸では女子教育に於て家事家政の知識技能の修養を尊重することが世界無比であります。家政を處理することが女子唯一の任務といふのが獨逸であります。よく獨逸婦人が家政をとる能力が優秀だといはれるのは誠に理由がある次第であります。獨逸婦人が必ず自分で買出しに出かけ、いろ／＼節約利用の行届くのも女子教育の主要なる事項が家政であり、家政の能力を十分に養成するからであり、家庭に於ける實際が悉く女の双肩にかゝつてゐるからであります。またヨーロッパ諸國で子供を連れた婦人が外出し、電車や汽車に乗つてゐるも獨逸の特色で、英米などでは殆ど見受けられないのもこの家庭生活が女の獨占であるからでありませう。従つて獨逸に於ける幼稚園は英佛

米諸國の幼稚園保育學校と大分異なる所がある譯であります。

五

何れにしても大戦後の獨逸は失業者多く一昨年などは二百萬と稱せられ、ベルリン大學卒業生なども多く就職難にて道路修繕工夫として働くものが少なくないといふ位であります。またプロシヤだけで小學校教師の失業者二萬五千の多數ある位。その管でドクターの博士號を持つた人達が中學校にも小學校にも奉職してゐる位だから、師範學校卒業者は小學校に奉職することが出来ないといふのであります。大戦のために佛蘭西や丁抹などに領土をとられたから小學校が減少したので自然小學校教師の失業者を出すに至つたのも確かに一の理由であります。しかしもつと有力な理由は大戦後出生率が著しく減少し、一九二五年から六年にかけて小學校の低學年兒童が著しく減少したから學級數の著しい減少となり従つて教師が不用になつたこととあります。例へばハンブルグ市だけでも戦前二萬人の出生兒があつたものが戦後は僅かに七千人に減少したといふのであります。出生兒が三分の一に減少した爲めに一九二五年から低學年の學級が三分の一に減少したから教師の失業者を生ずるも無理からぬこととありませう。殊にプロシヤでは大戦中でも戦後でも師範學校で教師を養成したのでありますから一方幼兒が著しく減少したので茲に二萬五千の失業者を生ずるに至つたといふのであります。ハンブルグ市は大戦中から教員養成をやめたから教師に過不足がないとはハンブルグ市の教育局長の話であります。教員養成をなさずとも

大戦後の生活難で、男は結婚せぬため女教師は多く獨身者、退職するものもないといった有様であります。茲に一例を上げます。ベルリンの某オーバーリアルシュレーの校長が參觀に行つた私に、是非私宅に来て呉れと申しますから、物ずきな私は一も二もなく賛成してその校長と共に校長の私宅に行つたことがあります。校長の私宅はその學校から程遠からぬ住宅の三階であります。「これが僕の妻君であります。これが妻君の屏風であります。これがテーブルであります」といつたものを見ると、何れも支那の刺繡や支那の漆器で誠に高價なもの、立派なものであります。妻君が結婚のとき持參したもので、今も尙ほ妻君のものであります。妻君の父親はもと外交官か何かで、支那日本と關係があり、中々立派な身分の人であつて娘の結婚のとき新家庭の道具として與へたものでありませう。それで今も校長のもとはなく、その妻君のものであり、校長も明白に妻のものといつてゐるし、妻君も私のものと區別してゐる所が面白いではありませんか。夫のものは妻のもの、妻のものは當然夫のものといふ我が國の家庭とは大に異なる思想であります。その中にこの學校長が「君はどうして獨逸語を學んだか、ベルリン在住の日本人で獨逸語を教はりたいたいものはないか、僕は何曜日と何曜日との午後ひまだから君の知人を紹介して呉れ。獨逸語を教へてやる。」といつて内職をほのめかす。妻君はまた「貴君はどこに居られますか。シババアストラッセにゐますか。私のところにあき間が一つあるから誰かにお貸したい。知人を世話して下さい」とこれは素人下宿をして家政の補助としたい考へ。更に「僕の長男は齒醫者で、タウエンチン

の方に開業してゐるから日本人で齒の痛む人に紹介して呉れ」といつて校長が町と番地まで詳細に知らせて呉れました。そして日本とは異りお茶一つ出すてはなく、お晝時でありますが自分達の用事をいふだけ言つて頼んだだけ。それでこちらには別に用事がありませんから只歸つたといふ譯であります。かく獨逸では高等學校長格の博士がかくの如くでありますから若いドクターなどは無給でも働く口がない位。それでありますから大戦後の獨逸は實に悲慘の極であつたと思ひます、尤も今は戦後らしいところは全く見えない程に回復して居りますから今後の獨逸は更に倍舊の勢を以て發展するに相違ないと思はれます。

六

獨逸は世界の音樂國といはれる位音樂が盛で普及して居ります。どこのレストランに行つても音樂をやつてゐない所はない位であります。丁度伯林滞在中のことでありましたが一日音樂の宣傳行列がありました。三萬人もの大行列、これは音樂の組合が合同している／＼音樂に關する假裝行列や作りものをしてベルリン市中をねり歩いたものであります。子供も老人も男も女も加つて音樂を演奏しつゝ行列が進む。之をばさんだ群衆は更にその音樂に和するといつた有様であります。某日本人が「一ヶ年ベルリンに滞在してカントのゐたこともヘーゲルのゐたことも全く分らないが、ベートベンの獨逸であるといふことがよく分る」といつたのであります。カントやヘーゲル等の哲學者を多く出してゐる獨逸で、

その哲學臭味よりもベートベンの音樂氣分が今も尙ほ著しいことを感ずるのは明白であります。世界の樂器製造は獨逸の專賣といつてよい位であります。ベツシユタインでもスタインウエーでも有名な樂器は何れも獨逸の會社製であります。米國は勿論英國でも佛國でもやす樂器は出來ますが到底獨逸品には及ばないのであります。それでゐて獨逸の學校にピアノが殆どないのは奇蹟といつてよいと思ひます。戦後の獨逸小學校ではピアノの如き樂器を贅澤とするのが一理由であります。ピアノは多數の聲樂に伴奏として必要でありますし、大きなコンサートには必ず必要とする樂器であります。三十人やせいゝ五十人の音樂教授には全く必要でない。ピアノがなければ音樂の教授が出來ない筈がないのであります。わざゝゝ音樂教室を必要とせず何時でも必要に應じて音樂の練習をなすにはヴァイオリンが小さくて便宜であります。ヴァイオリンは樂器としてもピアノよりは進歩せる樂器であります。小學校でピアノを必要としないのは煉瓦建築で他教室の妨害とならぬからどの教室が音樂をやるも差支ないことが一つ。ピアノは持運ぶことが出來ずヴァイオリンは何時でも出來る。安價で技巧に富むヴァイオリンを使用するが遙かによいのであります。またどの教師も皆ヴァイオリンをひくことが出來、どの教師も音樂教授をなし得る技量があるのでありますから音樂教師、音樂室、ピアノといったものが必要でなくなるのであります。兎に角獨逸のみならず歐米の小學校で音樂教室を必要とせず誰でも音樂をそこゝに教授し得るのは我が國と事情の異なる所であります。我が國は西洋音樂を強ひて採用したが爲に

特殊な事情にあることは勿論でありませうが裝飾的に高價なピアノを競争的に小學校や幼稚園で備付けんとすることは少くとも考慮を要することと思はれます。もつと簡單な方法で音樂遊戲の教授が出来るやうに工夫せられねばならぬと思ひます。獨逸の小學校で音樂室はないが理科室が必ずあるのも誠に獨逸式であります。普通教室にてヴァイオリンで音樂教授をやるのも全く獨逸式であります。

七

獨逸婦人が節約利用の精神に富んでゐることは多くの人が申す所であります。確かに節約の精神は女中にも普及してゐるのは全く感心する位であります。シャツの小さな貝ボタン一つ床上に落ちてゐても掃除のとき見つけると必ず拾つて置くのであります。紙屑でも新聞紙でも利用出来るものは必ず利用することを怠りません。小學校の低學年では油繪は程度が高い。油繪具の取扱が出来ませんから茲に一つの畫法が行はれてゐます。それが色紙の利用であります。いろ／＼のものを包んだ色紙は家庭でも學校でも注意すれば廢物として多くあるのであります。その廢物の色紙をためて置いて、それを千切つて糊をつけて廣い臺紙に貼付けます。勿論臺紙も廢物を利用するのであります。特に畫用紙を使用せず包紙の色のついたものを利用するのであります。我が國で近頃手工テープが工夫されてゐますが寧ろ廢物利用の獨逸風の繪がよいと思ふのであります。手工テープといふ特殊なものを購入して使用すれば便宜も多いのでありますが、廢物の如くいろ／＼の變化を求むることが出来ませんし、廢物を利用すること

に非常に價値がありませう。若し廢物利用の精神を以て小學校幼稚園などの圖畫手工玩具などの工夫をなすならば非常に材料も多く面白いものが出來ます。マッチ箱利用、お菓箱子やブリキ罐を利用することも小學校幼稚園で出來るものが多いのであります。また果物の皮や種子などを利用した自然物利用の玩具も數多く工夫出來るのであります。いろ／＼の材料を與へて之を工夫している／＼の表現をさせることは是非幼稚園小學校で行はねばなりません。出來上つたものを使用して單にそれを破壊するが如き態度を養成する教育は甚だ面白くない。廢物の如きものを組合せて構成する態度を涵養する工夫が我が國の家庭教育學校教育を通じての急務であると思ひます。この點に於て獨逸の教育は徹底してゐると思はれるのであります。作業教育を高潮し實施するもまたプロジェクトメントが米國に於て主張せられてゐるのも皆手近に得られる材料殊に廢物を利用して構成する能力の養成を主眼とするもので我が國の教育では大に覺醒して獨逸の範にのつとる必要があると思はれます。

